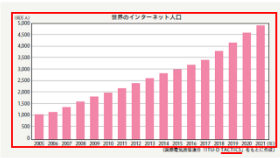
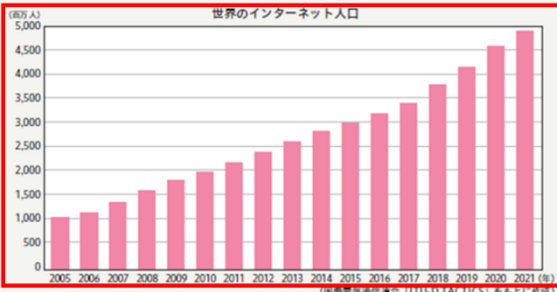
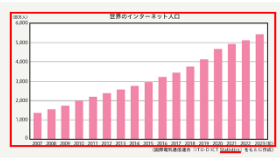
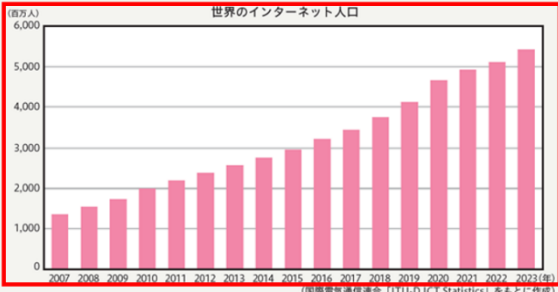


令和6年度高等学校教科書「情報Ⅱ」教授資料の訂正に関するお知らせ

現在ご使用いただいております弊社発行の高等学校教科書「情報Ⅱ（情Ⅱ 703）」教授資料につきまして、以下、訂正がございます。先生方、生徒、保護者の方々に大変ご迷惑をおかけいたします。深くお詫び申し上げます。

誠に恐縮ではございますが、当該箇所につきましてご指導の際にご留意いただきますようお願い申し上げます。

高等学校教科書「情報Ⅱ（情Ⅱ 703）」教授資料デジタルデータ編

種別、 ファイル名	原文（誤）	訂正文（正）	理由
スライド、第1章、1-2-1_p020-021_R5J2	（スライド5枚目） 1. 情報技術による社会や生活の変化 p.15 2. インターネットによる変化 第1章第1節 ●ARPANETは、1969年に米国で運用が開始された。1980年代にTCP/IPが標準プロトコルに策定され、日本では1992年にインターネットの商用サービスがはじまり、2019年には世界のインターネット人口が約40億人に達した。  （上図グラフ部分拡大） 	（スライド5枚目） 1. 情報技術による社会や生活の変化 p.15 2. インターネットによる変化 第1章第1節 ●ARPANETは、1969年に米国で運用が開始された。1980年代にTCP/IPが標準プロトコルに策定され、日本では1992年にインターネットの商用サービスがはじまり、2019年には世界のインターネット人口が約40億人に達した。  （上図グラフ部分拡大） 	

スライド、第1章、1-2-1_p020-021_R5J2

(スライド1枚目)

1. 情報セキュリティの重要性 p.20

1. サイバー犯罪と情報セキュリティ 第1章第2節

- サイバー犯罪は、不正アクセス禁止法違反、コンピュータ・電磁的記録対象犯罪、ネットワーク利用犯罪の3つに大別される。

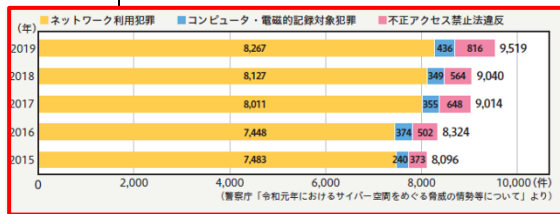
サイバー犯罪の検挙件数の推移



(上図解説部分拡大)

～、ネットワーク利用犯罪の～

(上図グラフ部分拡大)



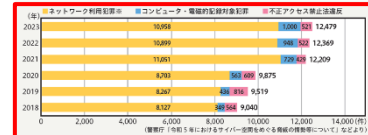
(スライド1枚目)

1. 情報セキュリティの重要性 p.20

1. サイバー犯罪と情報セキュリティ 第1章第2節

- サイバー犯罪は、不正アクセス禁止法違反、コンピュータ・電磁的記録対象犯罪、ネットワーク利用犯罪の3つに大別される。

サイバー犯罪の検挙件数の推移

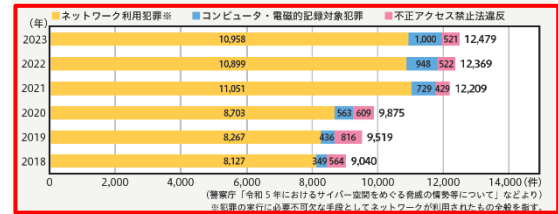


(上図解説部分拡大)

～、ネットワーク利用犯罪の～

※強調文字とりやめ

(上図グラフ部分拡大)



教科書の修正に伴い、より適切な表現にするため

スライド、第1章、1-2-2_p022-023_R5J2

(スライド7枚目)

2. 情報社会における権利と法律 p.23

4. 情報社会におけるさまざまな法律 第1章第2節

出会い系サイト規制法

正式名称は「インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律」。2003年に施行された。

青少年ネット規制法

正式名称は「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」。当初は「有害サイト規制法」などとも呼ばれていた。2009年に施行された。

(上図拡大)

青少年ネット規制法

(スライド7枚目)

2. 情報社会における権利と法律 p.23

4. 情報社会におけるさまざまな法律 第1章第2節

出会い系サイト規制法

正式名称は「インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律」。2003年に施行された。

青少年インターネット環境整備法

正式名称は「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」。当初は「有害サイト規制法」などとも呼ばれていた。2009年に施行された。

(上図拡大)

青少年インターネット環境整備法

教科書の修正に伴い、より適切な表現にするため

スライド、第4章、4-2-4_p116-117_R5J2

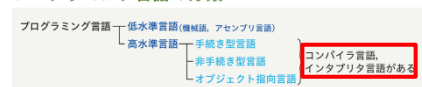
(スライド3枚目)

4. プログラミング p.116

1. プログラミング言語の選択 第4章第2節

- また、ソースコードが実行時に解釈されるインタプリタ言語と、事前に中間言語や機械語に翻訳し、実行時にそれを用いるコンパイラ言語に分類できる。

プログラミング言語の分類



(上図解説部分拡大)

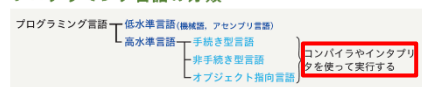
(スライド3枚目)

4. プログラミング p.116

1. プログラミング言語の選択 第4章第2節

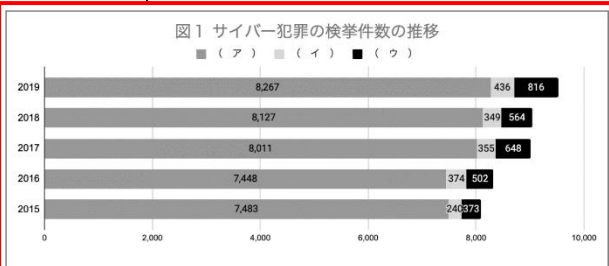
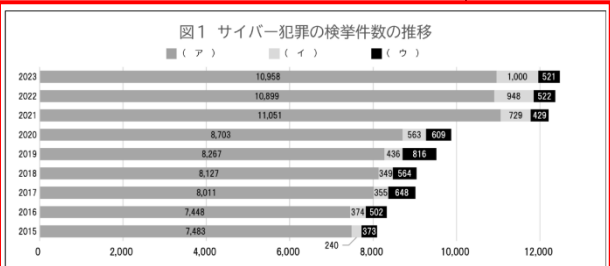
- 高水準言語で記述されたプログラムは、コンピュータで実行可能な形にコンパイラが変換する、あるいは、インタプリタがプログラムの命令を1つずつ解釈するなどして実行される。

プログラミング言語の分類



(上図解説部分拡大)

教科書の修正に伴い、より適切な表現にするため

	(上図解説部分拡大) ・また、ソースコードが実行時に解釈される<u>インタプリタ言語</u>と、事前に中間言語や機械語に解釈し、実行時にそれを用いる<u>コンパイラ言語</u>に分類できる。 (上図図内、囲み部分拡大) コンパイラ言語， インタプリタ言語がある	(上図解説部分拡大) ・高水準言語で記述されたプログラムは、コンピュータで実行可能な形に<u>コンパイラ</u>が変換する、あるいは、<u>インタプリタ</u>がプログラムの命令を1つずつ解釈するなどして実行される。 (上図図内、囲み部分拡大) コンパイラやインタプリタを使って実行する																																																																	
テスト問題、テスト問題集 R5J2_第1回 A_1 章	(2 頁 [4]、図)  図1 サイバー犯罪の検挙件数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>(ア)</th> <th>(イ)</th> <th>(ウ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td>8,267</td> <td>436</td> <td>816</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>8,127</td> <td>349</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>8,011</td> <td>355</td> <td>648</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>7,448</td> <td>374</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>7,483</td> <td>240</td> <td>373</td> </tr> </tbody> </table> (警察庁「令和元年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」より)	年	(ア)	(イ)	(ウ)	2019	8,267	436	816	2018	8,127	349	564	2017	8,011	355	648	2016	7,448	374	502	2015	7,483	240	373	(2 頁 [4]、図)  図1 サイバー犯罪の検挙件数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>(ア)</th> <th>(イ)</th> <th>(ウ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023</td> <td>10,958</td> <td>1,000</td> <td>521</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>10,899</td> <td>948</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>11,051</td> <td>729</td> <td>432</td> </tr> <tr> <td>2020</td> <td>8,703</td> <td>563</td> <td>609</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>8,267</td> <td>436</td> <td>816</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>8,127</td> <td>349</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>8,011</td> <td>355</td> <td>648</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>7,448</td> <td>374</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>7,483</td> <td>240</td> <td>373</td> </tr> </tbody> </table> (警察庁「令和5年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」などから作成)	年	(ア)	(イ)	(ウ)	2023	10,958	1,000	521	2022	10,899	948	522	2021	11,051	729	432	2020	8,703	563	609	2019	8,267	436	816	2018	8,127	349	564	2017	8,011	355	648	2016	7,448	374	502	2015	7,483	240	373	
年	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																
2019	8,267	436	816																																																																
2018	8,127	349	564																																																																
2017	8,011	355	648																																																																
2016	7,448	374	502																																																																
2015	7,483	240	373																																																																
年	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																
2023	10,958	1,000	521																																																																
2022	10,899	948	522																																																																
2021	11,051	729	432																																																																
2020	8,703	563	609																																																																
2019	8,267	436	816																																																																
2018	8,127	349	564																																																																
2017	8,011	355	648																																																																
2016	7,448	374	502																																																																
2015	7,483	240	373																																																																
	(3 頁 [4]、会話文) B: スマートフォンが普及して、オンラインゲームや SNS を利用する人が増えたことが原因なんじゃないかな? この前見たニュースでは、「友人がやっているオンラインゲームのパスワードを盗み見て、無断でログインしてプレイすることも(ウ)になる」と言っていたよ。 A: わたしたち高校生もかかわってくる問題だね。(イ)はどうだろう? <u>2016 年からあまり件数は大きく変化していないみたいだけど、増えたり減ったりしているね。</u> B: どうやら、Web ページのデータを無断で書き換えたり、システムのプログラムを改変して業務を妨害したりする行為などが(イ)にあたるみたいだね。いちばん検挙件数の多い(ア)は、「<u>銀行のサイトに似せた Web サイトにユーザを誘導し、暗証番号などを入力させ、個人情報を盗み出す(エ)</u>」という犯罪や著作権法(オ)違反などの、その他の罪種も含まれるから件数がいちばん多くなっているようだね。	(3 頁 [4]、会話文) B: スマートフォンが普及して、オンラインゲームや SNS を利用する人が増えたことが原因なんじゃないかな? 「有名な企業のサイトに似せた Web サイトにユーザを誘導し、暗証番号などを入力させ、個人情報を盗み出す(エ)」という行為も(ウ)にあたるらしいね。 A: わたしたち高校生もかかわってくる問題だね。(イ)はどうだろう? <u>2019 年以降は毎年増加しているね。</u> B: どうやら、Web ページのデータを無断で書き換えたり、システムのプログラムを改変して業務を妨害したりする行為などが(イ)にあたるみたいだね。いちばん検挙件数の多い(ア)は、<u>詐欺や著作権法(オ)違反などの、その他の罪種が含まれるから件数がいちばん多くなっているようだね。</u>	統計資料の更新および教科書の修正に伴い、より適切な表現にするため																																																																

テスト問題、テスト問題集 R5J2_第1回 C_1 章	(4 頁 [5]、下部語群) ②青少年 <u>ネット規制法</u>	(4 頁 [5]、下部語群) ②青少年 <u>インターネット環境整備法</u>	教科書の修正に伴い、適切な表現にするため
--------------------------------	--	--	----------------------

※教科書の訂正にあわせて、教科書紙面 PDF、図版データ、テキストデータにも訂正がございます。詳細は、教科書の訂正案内をご参照ください (https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/joho/2023_joho02/)。